

建設業退職金共済証紙購入状況報告書作成について

1 掛金収納書

- (1) 「発注者名」については「厚木市長」と記入してください。
- (2) 「元請契約の工事番号及び工事名」については、契約書に記載してある契約番号、工事名を記入してください。

2 建設業退職金共済証紙購入状況報告書

- (1) 「工事名」、「契約日」、「請負金額」は契約書のとおり記入してください。
- (2) 購入額の記入方法
 - ア 「共済証紙購入の考え方に基づき計算した参考額」は、別紙「共済証紙購入の考え方について」のとおりとし、「工事種類別及び請負金額の当てはまる割合」及び「対象工事における労働者の建退共制度加入率(%)」を記入し算出してください。
 - イ 「共済証紙購入額」は掛金収納書に記載されている金額を記入してください。
- (3) 掛金収納書の貼付が無い場合及び、報告書の「共済証紙購入の考え方に基づき計算した参考額」に対し「共済証紙購入額」が少ない場合は、理由欄にその理由を記入してください。
 - 【理由例】
 - ア 会社に退職金制度がある。
 - イ 従業員が中小企業退職金共済事業の被保険者である。
 - ウ その他の退職金制度に加入している。
 - エ 対象労働者数及び就労予定日数を把握して計算した。
 - オ 他の工事で余った証紙を使用するため。
 - カ その他
- (4) 証紙を購入する算式は、あくまで目安にすぎないので、他の工事で余った証紙を使用することもできます。その場合、証紙の原本を確認しますので、報告書を提出する際に御持参ください。
- (5) 共済証紙取扱期間から証紙を購入のうえ、取扱期間から交付される掛金収納書（契約者から発注者へ）を貼付してください。

別紙

共済証紙購入の考え方について

共済証紙購入額の把握が困難な場合は、

$$(請負金額) \times (下記表の率) \times \left(\frac{\text{対象工事における労働者の建退共制度加入率}(\%)}{70\%} \right)$$

により算出した額を参考としてください。

請負金額 \ 工事種別	土木					
	舗装	橋梁等	隧道	堰堤	浚渫・埋立	その他土木
1,000～9,999千円	3.5/1000	3.5/1000	4.5/1000	4.1/1000	3.7/1000	4.1/1000
10,000～49,999千円	3.3/1000	3.2/1000	3.6/1000	3.8/1000	2.8/1000	3.6/1000
50,000～99,999千円	2.9/1000	2.8/1000	2.8/1000	3.1/1000	2.7/1000	3.1/1000
100,000～499,999千円	2.3/1000	2.1/1000	2.1/1000	2.5/1000	1.9/1000	2.3/1000
500,000千円以上	1.7/1000	1.6/1000	1.9/1000	1.8/1000	1.7/1000	1.8/1000

請負金額 \ 工事種別	建築		設備	
	住宅・同設備	非住宅・同設備	屋外の電気等	機械器具設置
1,000～9,999千円	4.8/1000	3.2/1000	2.9/1000	2.2/1000
10,000～49,999千円	2.9/1000	3.0/1000	2.1/1000	1.7/1000
50,000～99,999千円	2.7/1000	2.5/1000	1.8/1000	1.4/1000
100,000～499,999千円	2.2/1000	2.1/1000	1.4/1000	1.1/1000
500,000千円以上	2.0/1000	1.8/1000	1.1/1000	1.1/1000

請負金額は消費税相当額を含む